

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29年 1月 4日			
所属学部・研究科	教育学研究科 1年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ネバダ大学リノ校 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	教育			
在籍身分	大学院生 (Graduate Special)			
留学期間	平成 28年 8月 23日 ~ 平成 28年 12月 16日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 大阪領事館			
	取得方法, 提出書類: インターネットで申し込み後, 大阪で面接。 後日郵送。			
	手続きに要した日数: 2週間			
その他必要な事前手続き	特になし			
出国年月日	平成 28年 8月 16日			
経路	関西国際空港→北京首都空港→サンフランシスコ国際空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業開始の週に1度半日程度のオリエンテーション。			
帰国年月日	平成 28年 12月 18日			
経路	サンフランシスコ国際空港→北京首都空港→関西国際空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	50万	円	
	内訳	渡航費	15万	円
		保険料	6万	円
		教科書代(学費)	3万	円
		宿舍費	16万	円
		食費	上記込	円
		その他 ( 旅費)	5万	円
( 雑費)	5万	円		
( 費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
2016年 秋学期	8月 23日 ~ 12月 16日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	交換留学生ということもあり, 専門に関係なく自由に履修ができましたが, 自身の専門に係る英語教育に関する授業を履修しました。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングの4技能すべてが重要だと感じました。日本にいる間にリーディング力をつけていると楽だと思います。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 15 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 4人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 4万5千円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	International House という, 留学生向けのシェアハウスがありますが, 近年値上がりしており, アパートのほうが安いこともありそうです。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 15万円 補償額 死亡 1000万円, 入院1日 1万円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	2回目の渡米であったため, ツベルクリン反応試験のみだった
日常的な健康について 不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由: 持病 (投薬)
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	大学内のヘルスセンターでは薬ももらえます。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	特になし	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特になし ダウントウンのあたりは少し危ないらしいです。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
先輩方の留学報告書が参考になりました。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
単位互換手続の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 留学先で取得単位数 ( 15 ) 単位 <input type="checkbox"/> 無 理由 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	教員	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	大学院生のため特になし	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
リノは The Biggest Little City in the World をキャッチフレーズとする, 小さいながらも魅力的な都市です。日本人の学生も多く在籍しています。ただ, 日本人の大学院生は平成 28 年現在 3 人しか在籍していないそうです。		
<b>8. 留学先の大学情報 (有名な分野, 大学の規模)</b>		

## (授業履修について)

所属学部・研究科	教育学研究科	1年次 (留学開始時点)
留学先大学	ネバダ大学リノ校 (国名: アメリカ合衆国)	
所属学部・学科等名	Education	
在籍身分	Graduate Special	
留学期間	平成28年8月23日～平成28年12月16日	
<b>1. 履修登録について</b>		
いつ頃履修登録をしましたか。(例: 出願時(月頃)、出発直前(月頃)、派遣先大学到着後(月頃))		
派遣先大学到着後(8月中旬)		
希望の科目をどの程度履修できましたか。(例: すべて履修できた・いくつか変更させられた・ほとんど履修できなかった)		
だいたい履修できた		
履修できなかった理由、変更が必要になった理由を述べてください。(例: 3年生以上しか履修できない科目だった)		
授業の登録上限に達していたから。		
交換留学生に履修制限がある科目はありましたか。どのような制限ですか。履修に際して必要書類はありましたか。		
インターンシップは履修できなかった		
<b>2. 履修科目について</b>		
履修科目数	合計 4科目	
履修科目1		
科目名	Reading	
時間数	1週間に150分の授業が合計16回	
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。		
<p>大学レベルのリーディング力を身に着けるための授業。教科書とオンライン教材を用いて学習を進めていく。</p> <p>予習として、教師が指示した教科書のページを読んでノートを取ってくるのが課された。課題としては、上記オンライン教材を個々で進めることと興味のある論文を読んで要約してくることが課された(レポートとプレゼン)。</p> <p>試験は、読解問題を解く試験が課された。</p>		

履修科目 2	
科目名	第二言語習得論
時間数	1週間に 160分の授業が合計 16回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
<p>第二言語習得論の概要を学ぶ講義。  予習として、3冊の教科書の指定された箇所を読むことが求められた。大体1週間当たり50~80ページ。  課題として、Argumentative Essay と Poster Session の2つがあった。それぞれ3~5ページのレポートを提出。  試験として、中間試験と期末試験があった。中間は選択式の問題。期末はレポートだった。</p>	
履修科目 3	
科目名	初等英語教育
時間数	1週間に 160分の授業が合計 16回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
<p>実践的な教育方法を学ぶ講義。小学校の児童を対象とした指導方法の授業。  予習は2冊の教科書を中心としたリーディング。大体1週間当たり50ページ。毎週読んだ内容の振り返りを授業用の掲示板に載せることが求められた。  課題は、指導案、Argumentative Essay の提出。  試験は期末試験のみ。Essay の Take Home Exam。</p>	
履修科目 4	
科目名	外国語評価
時間数	1週間に 160分の授業が合計 16回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
<p>外国語教育の評価方法を学ぶ講義。  指定された教科書を読むことが予習として課された。  たくさんの課題が課されたが、ほぼすべてが外国語能力測定のための規準とルーブリックを作るといったものだった。</p>	
履修科目 5	
科目名	
時間数	1週間に 分の授業が合計 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	

## 学習の概要に関するレポート

学習に関する内容として、留学開始時の英語力を測定するためのテスト（プレースメントテスト）と授業の内容について紹介させていただきます。

### ・プレースメントテスト

留学開始時に英語での授業を履修できる英語力があるかどうかを測るための試験がありました。試験時間はおよそ2時間ほどでした。TOEFLで100点以上かIELTSで8.0以上あれば免除されるようでした。

試験は、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を個別に調べます。それぞれに大体30分ほどが割り当てられます。ただし、スピーキングは先生と1対1のインタビュー形式のため5分程度でした。リスニング・リーディングは4択の選択式の問題でした。本文を読んだり、講義のビデオを聞いたりしてから答えます。

ライティングは与えられたテーマについての英作文をエッセーの形式で書くことが求められました。エッセーの構成として、Introductionを1パラグラフ、Bodyを3パラグラフ、Conclusionを1パラグラフあたりが目安になると思います。また、各パラグラフの構成もみられるように感じました。パラグラフでは、トピックセンテンスと2つから3つのサポートセンテンスを書くことになると思います。スピーキングは先生との1対1のインタビューです。英語で意思疎通を図れるかをみるためらしく、それほど難しい内容は聞かれません。全体的にTOEFLの問題と近い内容のため、特別このテストに向けた準備は必要ないように感じました。

また、この結果に応じて、リーディングなどの技能ごとの英語の授業の履修を課されることがあります。私の時には、多くの留学生が1つは履修することを課されていました。

### ・授業について

私は専門の授業を3つ履修しました。専門の授業では、予習として指定された教科書を読むこと、授業では積極的にディスカッションに参加することが求められました。復習として何かをすることは特に求められませんでした。授業によっては課題が多くそれが復習の代わりになりました。また、かなり詳細なシラバスが配布されるので、予習で何をするのか、課題の内容はどのようなものか、成績はどのようにつけられるかはとても明確でした。

予習のリーディングの量は1週間に50~100ページほどでした。留学時の英語力によるとは思いますが、私の場合はリーディングタスクに非常に時間がかかりました。クラスサイズによるのかもしれませんが、私が履修した授業では学生が意見を言う時間が多く取られました。英語で行われ、議論のスピードが速いので、録音をさせてもらおうと復習や授業内容の確認に役に立つように感じました。ただ、私の履修した授業では個人情報と学問の自由の保護のため録音をすることが禁止されていました。録音をしたい場合は、念のため事前に先生に確認を取った方が良いでしょうに感じます。

授業や課題の内容が分からなかった場合は、先生に質問をすることができます。メールが主な連絡手段になるように感じますが、シラバスにはオフィスアワーという、その授業の先生が受講生のために取ってくれている時間が明記されているので、その時間に先生に会いに行くこともできました。

## 生活の概要に関するレポート

生活の概要に関して、住居・買い物・食事・気候について書いていこうと思います。

### ・住居

ネバダ大学リノ校では多くの学生が大学の近くに住んでおり、車を持っていない学生は徒歩で通学する人が多かったです。大学周辺の物件の賃料はここ数年値上がりしているようで、ルームシェアの場合、ひと月当たり 450-500 ドルほどで借りられるようです。またほとんどの場合、部屋や家をシェアする形式になると思います。日本人以外と部屋をシェアする場合は、生活時間のずれや文化の違いがストレスになることもあるかもしれません。私の場合は以前から知り合いだった友人の家族のもとにホームステイをさせてもらったため、他の人よりも遠くに住んでおり、バスで通学をしていました。ただ、このような形で住居を見つけることは難しいと思うので、大学周辺のアパートや寮、クリスチャンのグループが留学生のサポートのために運営しているインターナショナルハウスなどの選択肢から選ぶことになると思います。可能であれば、ネバダ大学リノ校で留学したことのある人から情報を提供してもらおうと住居選びは心強いと思います。

### ・買い物・食事

買い物に関して、大学の周辺にはそれほどたくさんの店がありません。徒歩で買い物に行くこともできますが、片道 20~30 分ほどかかるので、週末に大学が提供する買い物用のバスを利用するか、車持ちの友人を作って連れて行ってもらうことになると思います。前述したクリスチャンのグループも買い物の補助をしてくれます。また、アメリカでは Uber という、個人タクシーのようなサービスが広がっています。タクシーよりも安く安全に利用できるようなので、利用を検討してみるとよいかもしれません。あまり利用している人はいないように感じましたが、バスで買い物に行くこともできます。Amazon も便利です。

食事について、寮に住む場合はミールプランに加入することになると思います。ミールプランに加入すると、寮にあるバイキング形式の食堂で食事ができますが、しばらくすると飽きてしまうという話をよく耳にしました。アパートの場合は外食か自炊になると思います。外食の場合、大学周辺のレストランのほか、大学の近くのカジノにもいくつものレストランがあるので、食事をする場所は多くありますが、費用がかさみます。

### ・気候

日本よりもかなり乾燥しています。このため気温のわりに暑さや寒さは厳しく感じないように思います。季節は日本と似ているので、留学開始時の 8 月・9 月には日本で夏に来ている服が、寒くなってくると冬に来ている服が使えると思います。ただ、冬用の服は持っていくとかさばるので現地で購入することも選択肢に入れることができるように感じます。

また、乾燥しているため夏でもリップクリームやスキนครリームがあった方が良いです。目もよく乾燥したので、私の場合は目薬もとても役に立ちました。肌につけるものは日本のもののほうが安心できるのであれば、日本から持っていくとよいと思います。

